

令和5年7月20日

報道関係者 各位

大阪府藤井寺市

道明寺地域の東高野街道沿いに新しいシンボルが完成

弘法大師生誕 1250 年で大師生誕の日の 7 月 27 日に御休石改修工事の竣工を記念する除幕式が開催されます。

道明寺地域の魅力あふれるまちづくりを推進する「道明寺まちづくり協議会」では、弘法大師ゆかりの御休石（おやすみいし）が祀られていた堂宇を、地域の有志の皆さんからの協賛により、デザインを一新した地域の新たなシンボルとなるよう改修しました。

この度、完成を記念した除幕式が行われますのでご案内します。

■弘法大師御休石除幕式

1. 日時 令和5年7月27日（木） 午前9時
2. 場所 道明寺2丁目2番20号 東高野街道沿い弘法大師御休石前



■弘法大師御休石の伝承

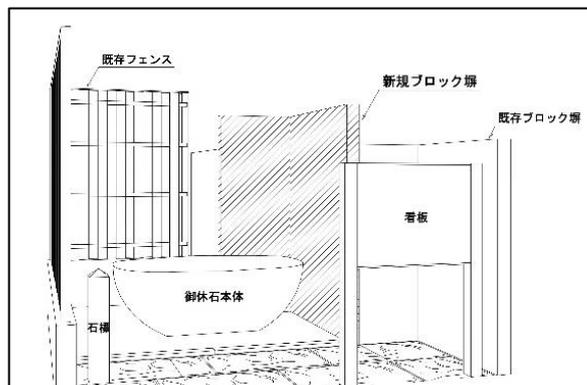
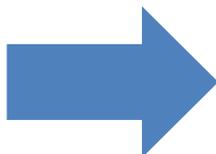
昔、弘法大師が、御本山高野山から全国を行脚され、この東高野街道を通る道すがら、道明寺のこの地で、通称「大師さんみぞ」と呼ばれていた用水路のそばの道端にあった大きな石に座られて一服されておられました。その後長い年月が流れ明治の頃、この石はその用水路に橋として架けられ、人や馬が行き交うようになりました。すると不思議なことにその橋を渡る馬たちが足を怪我することが増えたため、村人たちが話し合い、弘法大師が座られていた石を人や馬が足蹴にするから罰があたったのだろうということで、この石を祀ったところ怪我が無くなったと言い伝えられています。

■道明寺エリアの新しいシンボルに

この御休石は、弘法大師を信仰する地元の人々により「弘法大師講」が作られて管理されてきました。改修にあたって御休石の歴史を調査した結果、新しい事実が判明しました。これまでは、明治時代に大師講が作られたと考えられていましたが、実は江戸時代後期に大師講が編成されたようです。さらに350年前の絵図にも御休石が描かれていました。石は片面が擦り減っており、祀られる前は近くの溝の石橋として、東高野街道を往く人々を数百年も支えてきたことがうかがえます。弘法大師のお休み石は全国にみられますが、このように由来をしっかりと説明できるものはほとんどないと考えられており、この度、道明寺の新たなシンボルとして生まれ変わりました。



改修前の状態



完成イメージ図

■関係者コメント/道明寺まちづくり協議会 弘法大師御休石改修部会

この度、地元道明寺地域を愛する多くの皆様のご厚意により、本改修が完成いたしました。今後は道明寺エリアの歴史遺産の一つとして、より多くの皆様から注目されるスポットとなるとともに、まちのにぎわい活性化の新しいシンボルとなることを大いに期待しています。



藤井寺市

<https://www.city.fujidera.lg.jp>



藤井寺市は、SDGs の目標達成に向けた取り組みを推進しています。

藤井寺市は大阪府の南東部に位置し、市域面積が 8.89km² と大阪府で最も小さい市ながら、鉄道の 3 駅や西名阪自動車道が通っており、アクセス性の高いコンパクトシティとして形成されています。市域には、世界文化遺産に登録された古市古墳群や日本遺産に登録された西国三十三所第五番札所の葛井寺などを有し、歴史資産が豊富なまちでもあります。



近年は、おしゃれな雑貨屋やカフェが増え、「なかなかのまちなか藤井寺」をキャッチフレーズにまちなか観光を推奨するなど、あらたな魅力をみせています。



<藤井寺市プロモーションサイト「なかなかのまちなか藤井寺」>

<https://fujidera-city-promotion.osaka.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

大阪府藤井寺市

市民生活部観光課 担当：松宮嘉彦

TEL：072-952-7801 E-MAIL：kankou@city.fujidera.lg.jp

道明寺まちづくり協議会 弘法大師御休石改修部会 担当：藤本良真

TEL：070-5502-2007